



▲上：9月24日BS11「報道ライブ インサイドOUT」に自民党若手議員を代表して生放送出演 ▲中・下：8月27日BS-TBS「報道 1930」に自民党を代表して生放送出演。年金の財政検証発表を受け、今後の年金受給の見直しについて立憲民主党 長妻昭代表代行と議論

BSの報道生放送番組に続けて出演！

年金財政検証 なぜ参院選後に公表？

郷音 ひびき新聞 たばた裕明 自由民主党 衆議院議員

郷音 令和元年・晩秋

facebook たばた裕明公式FB 随時UP中!

誰もが活躍できる社会づくりを

10月から消費税率の引き上げを財源として幼児教育・保育の無償化が始まりました。



Table with election results and job titles. Columns include election name, candidate name, party, votes, and percentage.



国会対策副委員長に就任！

この度、自民党役員等人事異動により田畑は国会対策副委員長に就任した。

東京での活動

国会対策副委員長に就任！

事務所情報 富山事務所 東京事務所

公式サイト check! Facebook check! https://www.facebook.com/hiroaki.tabata.37

7/21 参院選勝利!!



どこ茂候補・新妻ひでき候補(公明) そろい踏み街直
茂木敏充経済再生担当大臣(当時)とともに応援演説

どこ茂候補 得票数 **270,000票** 得票率 **66.73%** (全国4位)

全国各地の自民党同志への
応援にも駆け回る!

感謝申し上げます

どこ茂候補へのご支援に

富山県選挙区

山形県・新潟県
長野県・石川県にも
足を運びました

福井県
たきなみ宏文候補

埼玉県
古川としはる候補

富山県選挙区

どこ茂候補出陣式

どこ茂候補が
2期目の当選を果たす

当選御礼

県外選挙区

比例選挙区

山田としお候補

ありむら治子候補

石田まさひろ候補

羽生田たかし候補

佐藤のぶあき候補

介護施設挨拶まわり

響裕会総会にて
トークセッション

保育園挨拶まわり

各地の個人演説会にて
応援弁士を務める

富山での活動

この夏も精力的に
動き回りました

▲富山県民生委員児童委員大会

▲衆議院議員 西村明宏先生(現・官房副長官)とともに、ふるさと対話集会を開催

▲中川忠昭先生の富山県議会議長就任祝賀会

▲富山県障害者技能競技大会(とやまアピリンピック)

▲朝乃山関大相撲夏場所優勝記念祝賀会

▲藤ノ木地区住民大運動会

▲富山市を来訪された小泉進次郎先生と

▲各地区の納涼祭にて住民の皆様と

▲浜島地区の手作りダンボール船大会

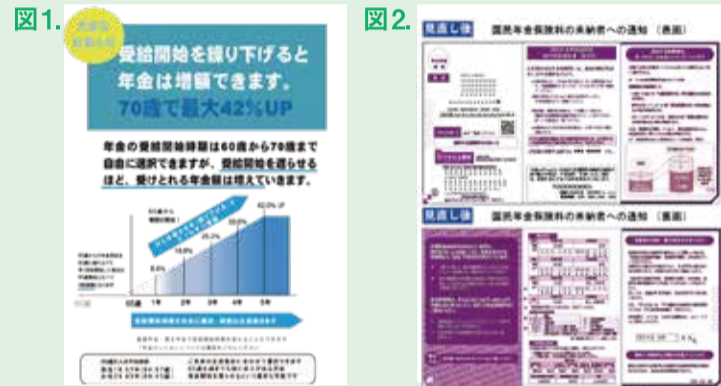
▲月岡地区のえだまめ収穫祭

▲JAなのはな梨選果場での「呉羽梨 幸水の目揃い会」

小泉進次郎厚生労働部会長(当時)のもと 自民党厚生労働部会国民起点プロジェクトチーム事務局長として 社会保障分野のサービス改革をスピード感をもって取り組む!

改革① ねんきん定期便等の見直し

- ねんきん定期便の文字の大きさや、イメージ図をわかり易く変更
- 年金の受給開始を遅らせた場合、「最大4.2%増」となることを具体的に示したリーフレットの作成(図1)
- 年金未納者への通知書の内容一新(図2)
- 年金額確定通知書や振込通知書についても見直しを行った



改革② 健診受診率の向上等に向けた取り組み

- 特定健診、特定保健指導の実施率を保険者(健康保険事業の運営主体)ごとのランキング形式で公表
- 実施率が特に高い保険者、低い保険者に対して厚生労働大臣から署名入りのメッセージを送付

2017年度 特定健診実施率ランキング			2017年度 特定保健指導実施率ランキング		
順位	保険者名	実施率	順位	保険者名	実施率
1	飛騨市(岐阜県)	65.3%	1	下呂市(岐阜県)	92.1%
2	日置市(鹿児島県)	64.2%	2	高山市(岐阜県)	90.7%
3	南砺市(富山県)	62.9%	3	伊那市(長野県)	88.1%
4	多久市(佐賀県)	61.0%	4	飛騨市(岐阜県)	76.0%
5	砺波市(富山県)	60.9%	5	能美市(石川県)	72.3%
6	士別市(北海道)	60.6%	6	野々市市(石川県)	68.6%
7	いちき串木野市(鹿児島県)	60.6%	7	多久市(佐賀県)	67.9%
8	国東市(大分県)	58.6%	8	南アルプス市(山梨県)	67.5%
9	妙高市(新潟県)	58.0%	9	南砺市(富山県)	67.3%
10	小千谷市(新潟県)	57.8%	10	砺波市(富山県)	64.1%

改革③ 介護サービス事業者の事務負担軽減

1. 事業所が作成・保管する文書
 - ICT化の推進により、介護現場のペーパーレス化を実現
 - 地域医療介護総合確保基金を活用して、ケア記録から請求業務まで一気通貫で行うことができるよう、ICTの導入を促進
2. 行政が求める書類
 - 書類負担ゼロの実現を目指し、自治体ごとに異なる書類の形式を統一
 - 添付書類等の標準化・簡素化に向けて、IT化も含めて地方自治体との協議の場を設置
→今年度立ち上がり、鋭意、協議が始められている

改革④ 労災防止ゼロの推進

人生100年時代を迎え、年齢に関わらず働く方が増える中、特にサービス業で増加している60歳以上の労災を防止する取り組みが必要

60歳以上が被災した労働災害の状況(休業4日以上)

2008年: サービス業 9,688人(42%)

2018年: サービス業 18,115人(55%)

- 高齢者の労災ゼロに向けた取り組み
- 労災防止の好事例を検索・参照できるウェブシステムの開発
- 労災防止に取り組む企業の情報を国が発信
- サービス業の企業本社に対する重点的な指導の実施

改革⑤ 教育訓練給付の拡充

何歳になっても継続的に学び直し、スキルアップして活躍したい方をサポート

学び直しに挑戦する方

11万人(現在)

22万人(3年以内)

中長期的キャリア形成(給付率最大7割)

キャリアアップ(給付率4割)

- 教育訓練給付の拡充で3年以内に「学び直しに挑戦する方」の倍増を目指す
- 厚生労働大臣が指定した約1万4千講座の受講料の20%~最大70%を国が補助(最大224万円軽減)

平成30年11月に自民党厚生労働部会に設置された「厚生労働行政の効率化に関する国民起点プロジェクトチーム」において事務局長を務めておられます。取り組みをお聞かせ下さい。

「厚生労働行政の政策立案は国民目線から程遠い点が多い」という小泉進次郎部会長の発案から新設された組織で、田村憲久座長(元厚労大臣)を補佐しつつ、各分野毎にテーマを定め、課題を洗い出し、提言の取りまとめや各種関係者と意見のすり合わせ、会議後の報道記者ブリーフィング(会議内容の説明)などを担っています。

5月には4分野5項目に亘る提言書を岸田文雄政務調査会長にお渡ししました。令和2年度予算等に反映することを目指しています。

「会議では常に「ユーザーである国民の目線での改革」を意識した意見交換がなされた」と伺っています。

これまで厚生労働分野における議論という制度のあり方等についてのテーマがほとんどでしたが、国民起点PTでは「いかに国民の皆様に分かりやすく伝え、理解していただくか」という新しいアプローチでの議論を進められたと思います。私も富山県内の医療、福祉や労働分野の様々な主体の方々と直接意見交換をさせていただいたりアンケートへの回答にご協力いただいたりと皆様の「生の声」を多くお聞きすることができました。国民起点PTに限らず、国民の皆様の視点から行政のあり方を考えていくというチャンネルを今後も続けてまいります。

▲事務作業のペーパーレス化を実現している介護施設を視察

▲自民党厚生労働部会代理長として、厚生労働部会の会議内容を記者ブリーフィング